

トヨタ純正

フォグランプ

取付要領書

このたびは、トヨタ純正「フォグランプ」をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は「フォグランプ」の取り付け要領について記載しております。

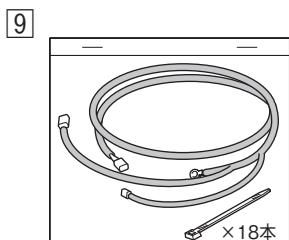
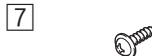
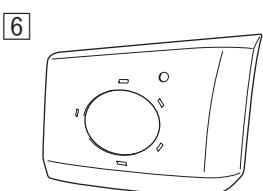
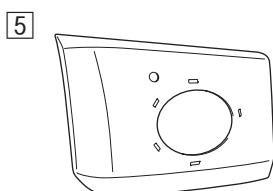
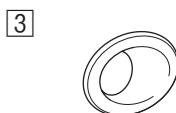
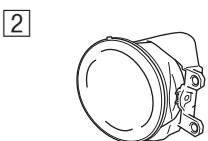
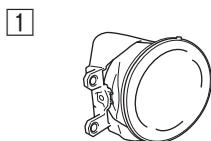
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品 番

①	カバー材着品	81025 - 52460
②	カバー塗装品	81025 - 52470

注: 取り付けには、フォグランプセットとコンビネーションスイッチが必要です。

構成部品



フォグランプセット

No.	品 名	品 番	個数	①	②
①	フォグランプASSY RH	81210-47010	1	1	
②	フォグランプASSY LH	81220-47010	1	1	
③	カバー A RH	材着品 81481-52550 塗装品 81481-52590	1	-	1
④	カバー A LH	材着品 81482-52470 塗装品 81482-52500	1	-	1
⑤	カバー B RH	材着品 52712-52280 塗装品 52712-52290	1	-	1
⑥	カバー B LH	材着品 52713-52230 塗装品 52713-52240	1	-	1
⑦	スクリュー(M5×14mm)	—	2	2	
⑧	リテナー	—	4	4	
⑨	フォグランプハーネス (ケーブル×18本を含む)	82214-52100	1	1	

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特に守りいただきたいことを次のマークで表示しています

⚠ 警告 ……警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています

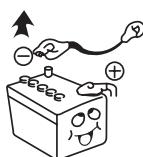
⚠ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています

●アドバイス ……スピーディーに作業をしていただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) 付属（指定）のランプ、スイッチ、リレー、ハーネス等を改造したりしますと、車両火災等重大事故の原因となることがあります。
- (4) 車両との接続は、専用コネクター等の接続端子を使って、確実に接続してください。車両火災等の原因となることがあります。
- (5) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。
作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

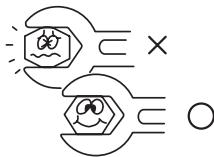
取り付ける前に

- バッテリーの（-）側ケーブルをはずす

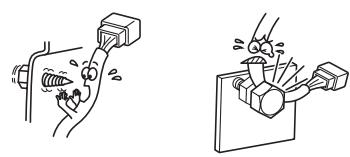


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う

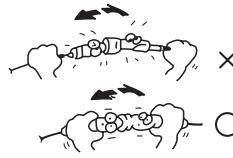


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

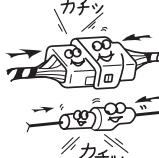
- コネクターは本体を持ってははずす



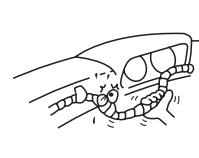
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



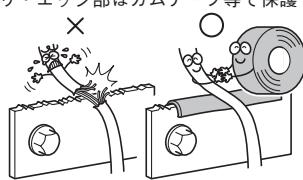
- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部はガムテープ等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



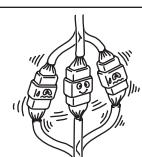
- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- はだか線にはクランプしない

- 余った部分をカットする

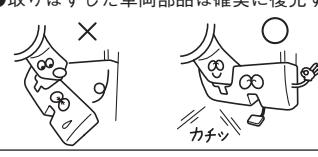


- カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する

- コネクターを異音がしないようにクランプする

取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



⚠ 注意

- ・バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。
- ・バッテリーの（-）側ケーブルをはずしてから、90秒間は作業を始めないでください。エアバッグシステムは、バックアップ電源を備えている為、90秒以内に作業を開始するとエアバッグが展開する可能性があります。

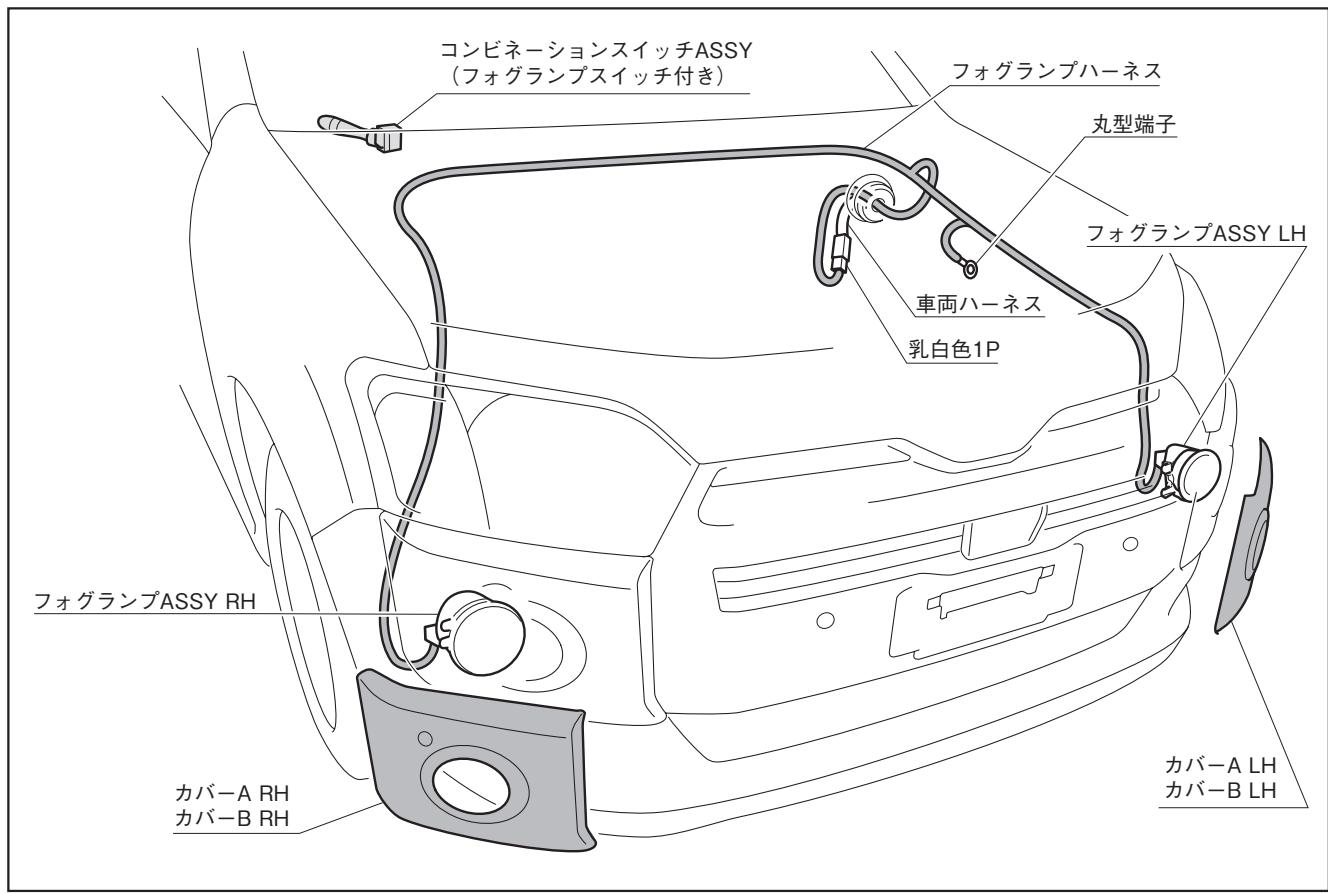
取り付けに必要な工具等

一般工具、樹脂リムーバー、クリッピングリムーバー、ニッパー、ビニールテープ、ガムテープ、保護テープ、保護シート、トルクレンチ、精密ドライバー（-）、石鹼水等、ウエス、針金（500mm）、ブチル、カッターナイフ、ケブラ手袋、トヨタエレクトリカルテスター

始業点検

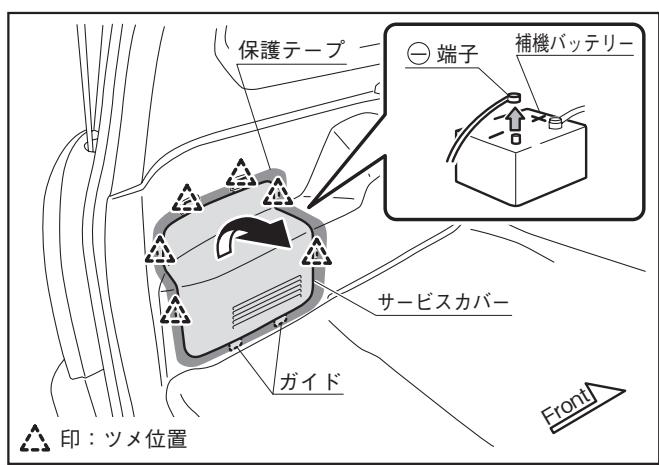
ヘッドライト等、電気系統の作動確認を実施してください。

配線概要



KT-IL-002

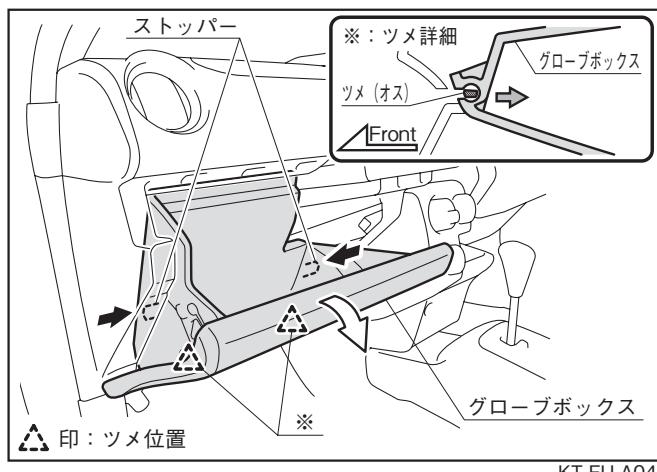
車両部品の取りはずし



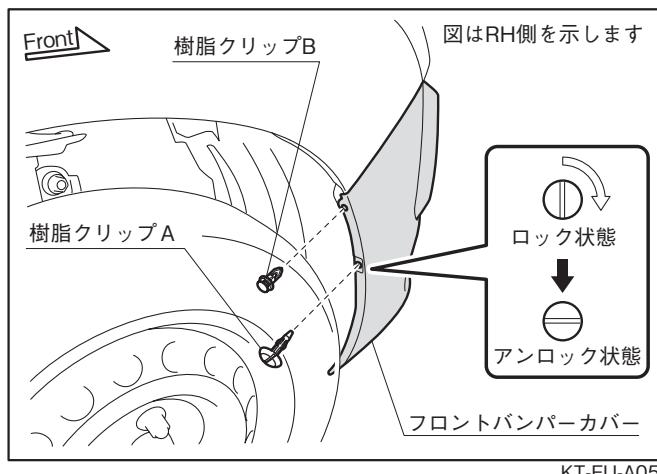
補機バッテリー（-）端子の取り離し <ハイブリッド車の場合>

1. 図中アミ掛け部に保護テープを貼り付ける。
2. ツメ（6箇所）の嵌合をはずし、サービスカバーを取りはずす。
3. 補機バッテリーの（-）端子を切り離す。

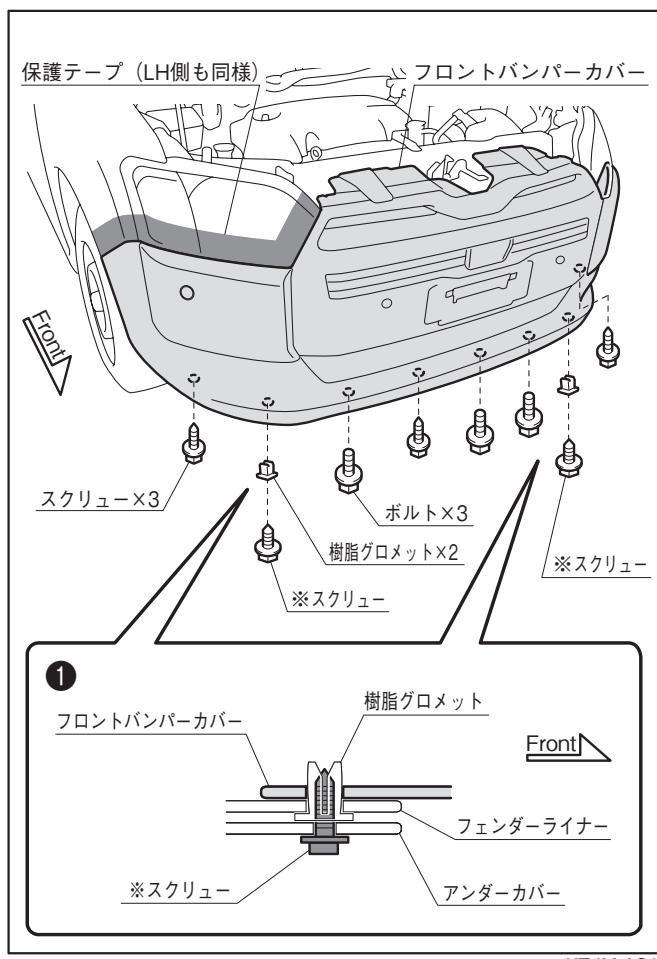
KT-IL-B01



KT-FU-A04



KT-FU-A05



KT-IM-A01

グローブボックスの取りはずし

1. ストッパー(2箇所)の嵌合をはずし、グローブボックスを水平状態まで傾ける。
2. グローブボックスの※ツメ(2箇所)を水平方向にはずし、グローブボックスを取りはずす。

フロントバンパーカバーの取りはずし

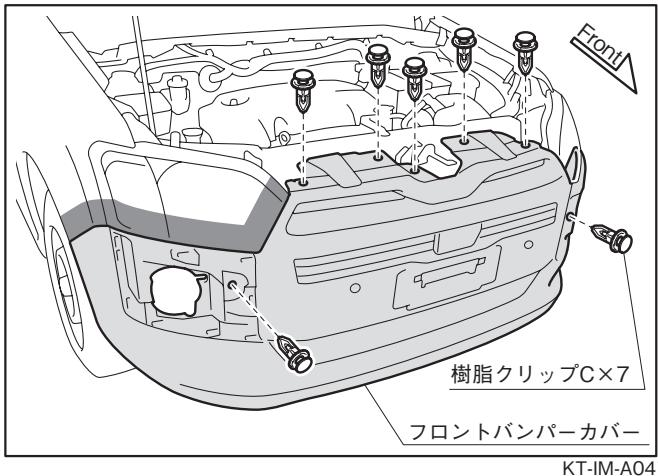
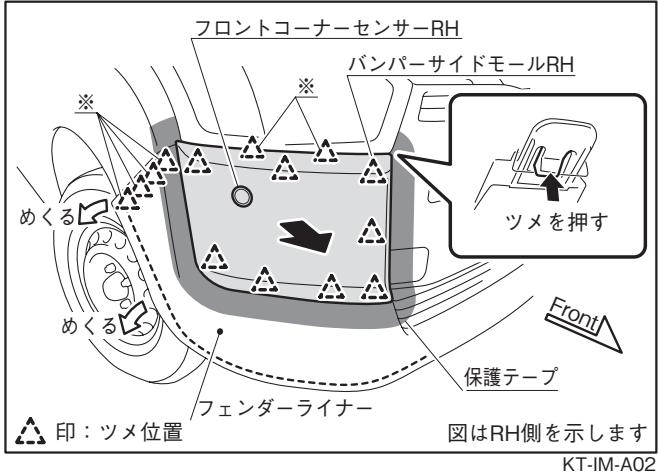
1. RH側フェンダーライナーの樹脂クリップA(1個)及び樹脂クリップB(1個)をはずす。
2. LH側も同様に作業する。

3. 図中アミ掛け部に保護テープを貼り付ける。

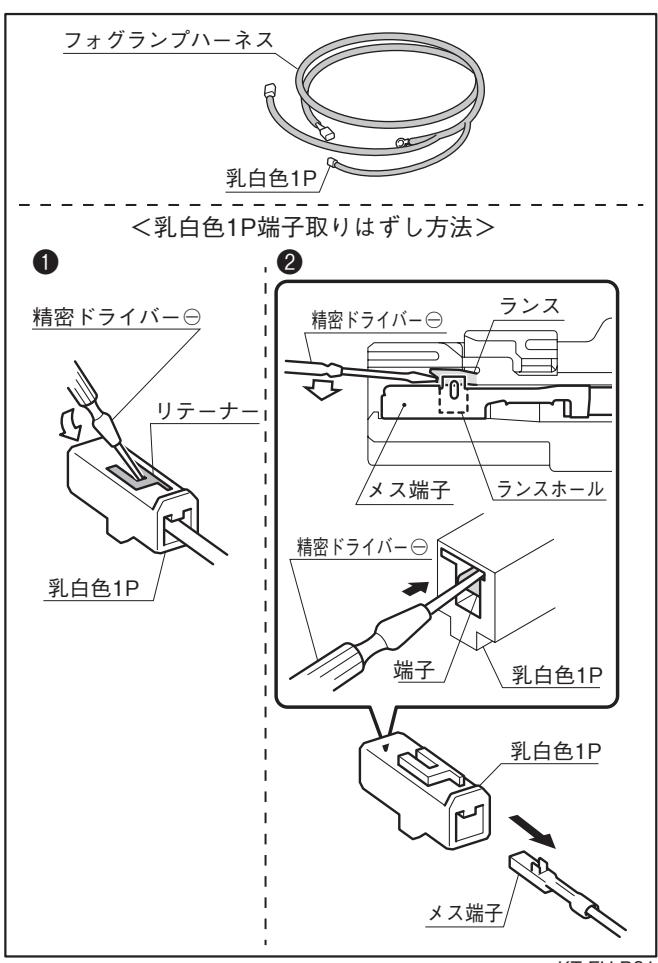
4. フロントバンパーカバーアンダーカバー下部のボルト(3本)、スクリュー(5本)及び樹脂グロメット(2個)をはずす。

△ 注意

図中※で示すスクリューを復元する際は、図中①に従い、フロントバンパーカバー、フェンダーライナー、アンダーカバーの組み合わせを間違えないように復元してください。



フォグランプハーネスの準備



フォグランプハーネスの配線前準備

- 精密ドライバー \ominus を使用し、乳白色1Pコネクターのリテナーのロックをはずす。(図中①)
- 精密ドライバー \ominus を使用し、乳白色1Pコネクターのメス端子のロックをはずして、コネクターから端子を引き抜く。(図中②)

△ 注意

乳白色1Pコネクター及びメス端子を破損させないように注意して作業してください。

アドバイス

メス端子を引き抜いた乳白色1Pコネクターは、後の作業で再使用します。

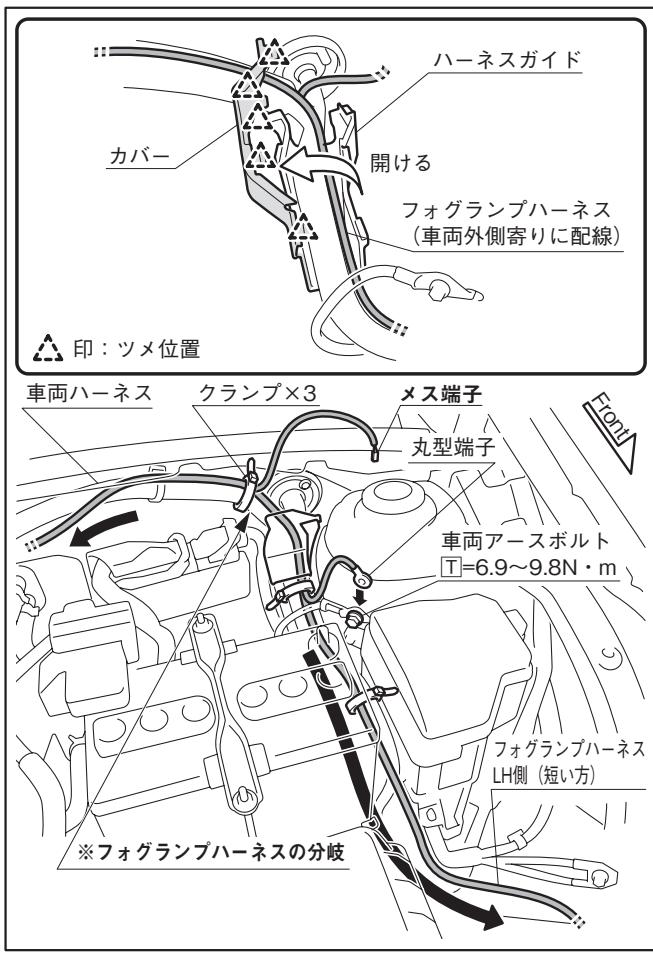
- 図中アミ掛け部に保護テープを貼り付ける。
- フロントバンパーカバーの※ツメ(6箇所)の嵌合をはずす。
- フロントバンパーカバー及びフェンダーライナーを少しだけ下げる。
- フロントバンパーカバー内側からバンパーサイドモールRHのツメ(8箇所)の嵌合をはずし、バンパーサイドモールRHを矢印方向に取りはずす。
- バンパーサイドモールRHからフロントコーナーセンサーRHを取りはずす。

△ 注意

フロントコーナーセンサーのコネクターははずさないように作業してください。

- LH側も同様に作業する。
- 樹脂クリップC(7個)をはずし、フロントバンパーカバーを取りはずす。

フォグランプハーネスの配線 < ガソリン車の場合 >

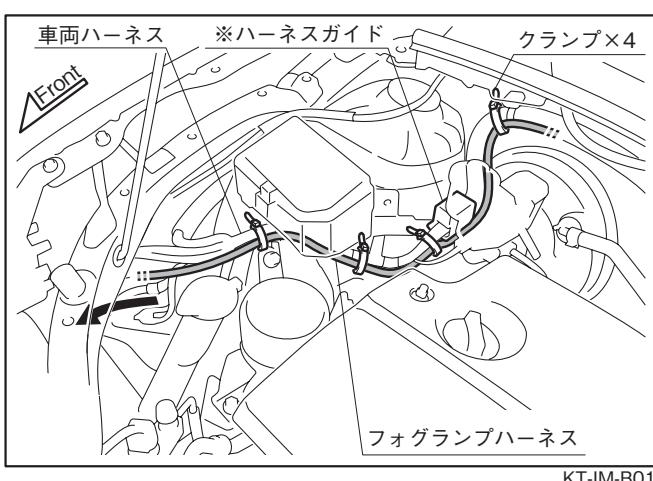
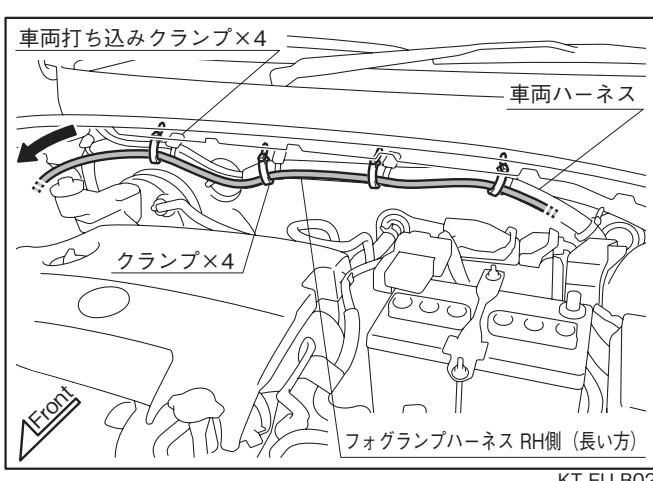
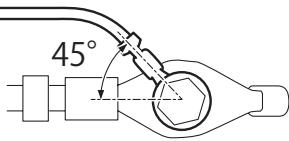


フォグランプハーネスの配線 (1)

- 図中締め付けトルクに従い、フォグランプハーネスの丸型端子をバッテリー後方付近のアースボルトに接続する。

■ アドバイス

丸型端子の締め付け角度が45度になるよう固定してください。



- ツメ(5箇所)の嵌合をはずしハーネスガイドのカバーを開けて、フォグランプハーネスを配線する。

■ アドバイス

フォグランプハーネスをハーネスガイド内に配線する際、車両ハーネスの車両外側位置に配線してください。

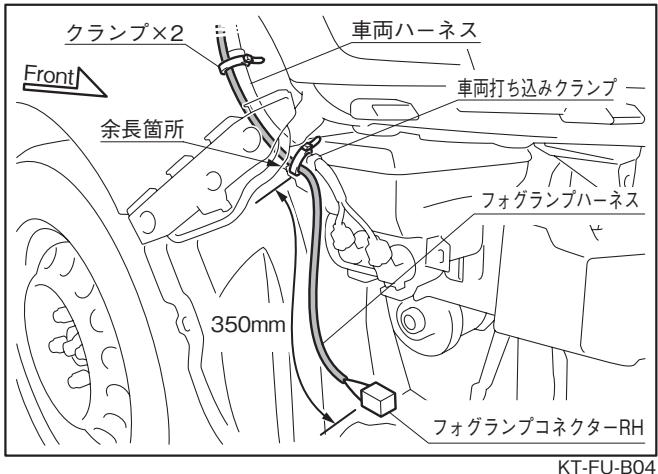
- フォグランプハーネスの※分岐(メス端子ハーネスが分岐している箇所)を車両ハーネスのコーナー部に合わせ、クランプで固定する。
- ハーネスガイドのカバーを閉じる。
- フォグランプハーネス LH 側(短い方)を車両ハーネスに沿って配線し、クランプで車両ハーネスに固定する。
- フォグランプハーネス RH 側(長い方)を車両ハーネスに沿って車両右側へ配線し、車両ハーネスの打ち込みクランプ付近にクランプで固定する。

- フォグランプハーネスを車両ハーネスに沿ってヘッドライトASSY RH下からフォグランプASSY RH取付位置まで配線する。

- フォグランプハーネスを車両ハーネスの打ち込みクランプ付近にクランプで固定する。

■ アドバイス

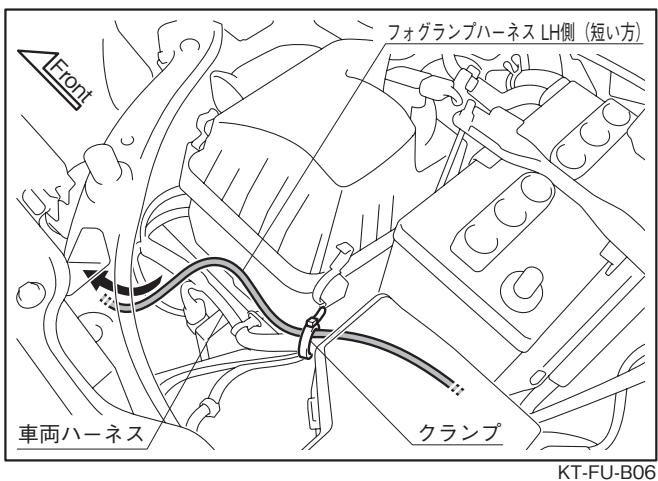
フォグランプハーネスは※ハーネスガイドの下側に配線してください。



- 9 左図寸法を確保し、フォグランプハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。

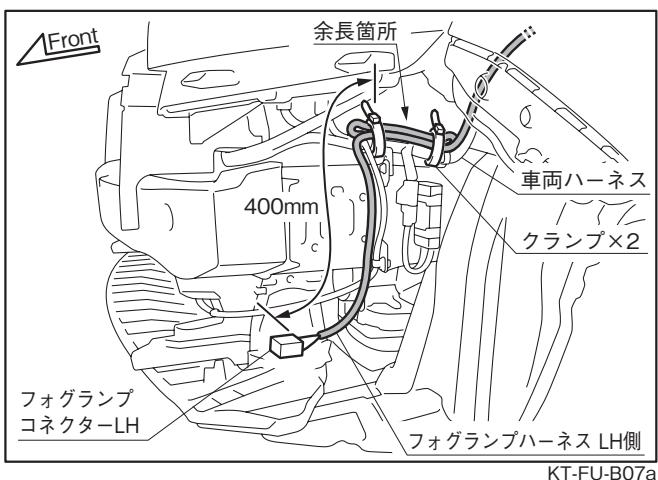
■アドバイス

フォグランプハーネスに余長がある場合、図に示す箇所で処理してください。



フォグランプハーネスの配線 (2)

1. フォグランプハーネス LH 側（短い方）を車両ハーネスに沿ってヘッドライト ASSY LH 下からフォグランプ ASSY LH 取付位置まで配線する。
2. フォグランプハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。

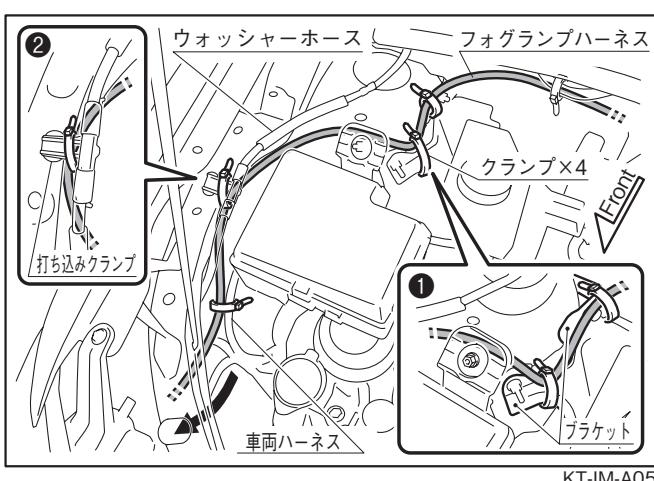
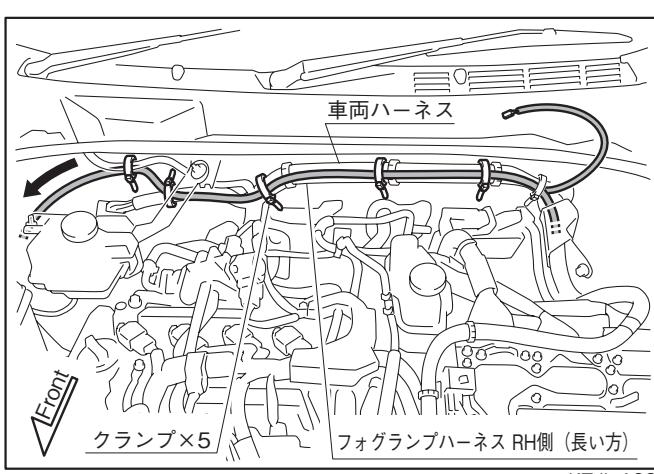
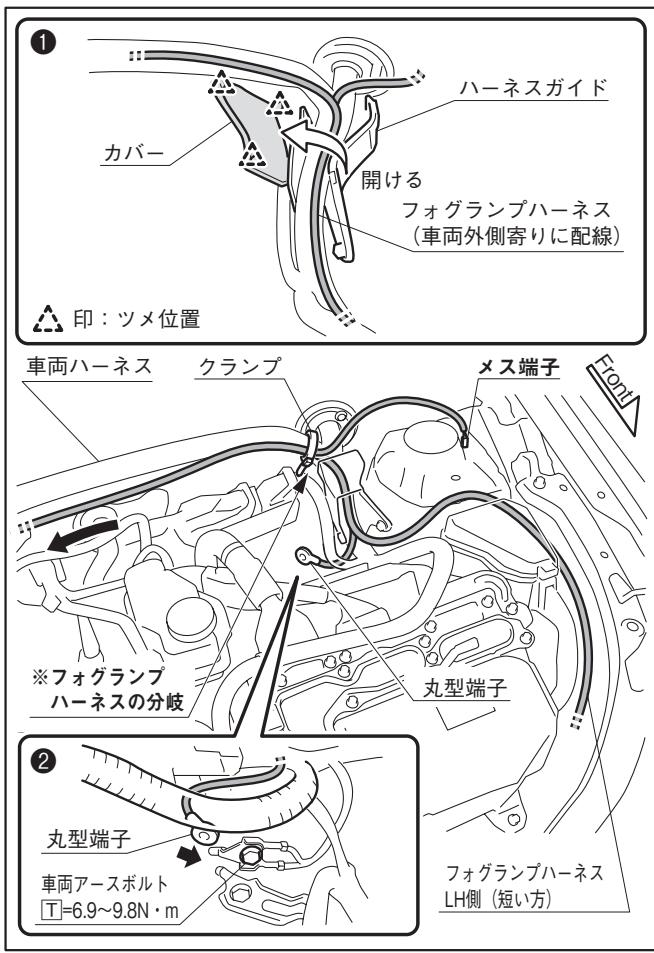


- 3 左図寸法を確保し、フォグランプハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。

■アドバイス

1. フォグランプハーネスの余長処理は、図に示す箇所で行ってください。
2. 作業後は P.10「フォグランプハーネスの車室内引き込み」へ進んでください。

フォグランプハーネスの配線 <ハイブリッド車の場合>



フォグランプハーネスの配線 (1)

- ツメ（3箇所）の嵌合をはずしハーネスガイドのカバーを開けて、フォグランプハーネスを配線する。(図中①)

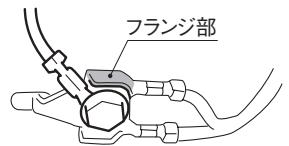
■ アドバイス

フォグランプハーネスをハーネスガイド内に配線する際、車両ハーネスの車両外側位置に配線してください。

- フォグランプハーネスの※分岐（メス端子ハーネスが分岐している箇所）を車両ハーネスの分岐位置に合わせ、クランプで固定する。
- ハーネスガイドのカバーを閉じる。
- 中締め付けトルクに従い、フォグランプハーネスの丸型端子をハーネスガイド下側付近のアースボルトに接続する。(図中②)

△ 注意

フランジ部に干渉して浮きが発生しない角度で固定してください。



- フォグランプハーネス RH 側（長い方）を車両ハーネスに沿って車両右側へ配線し、車両ハーネスにクランプで固定する。

- フォグランプハーネスをエンジンルーム右側に配線し、ヘッドライト ASSY RH 下からフォグランプ ASSY RH 取付位置まで配線する。

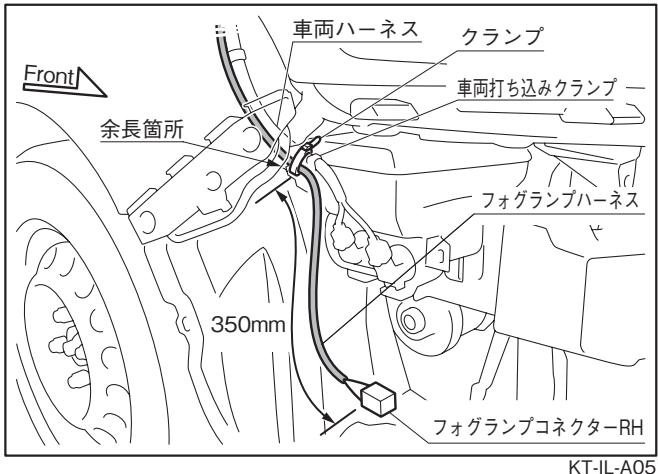
- フォグランプハーネスをリレー & ヒューズボックス付近のブラケットにクランプで固定する。(図中①)

- フォグランプハーネスをウォッシャーホースの打ち込みクランプ部にクランプで固定する。(図中②)

△ 注意

ウォッシャーホースにはクランプ固定しないでください。

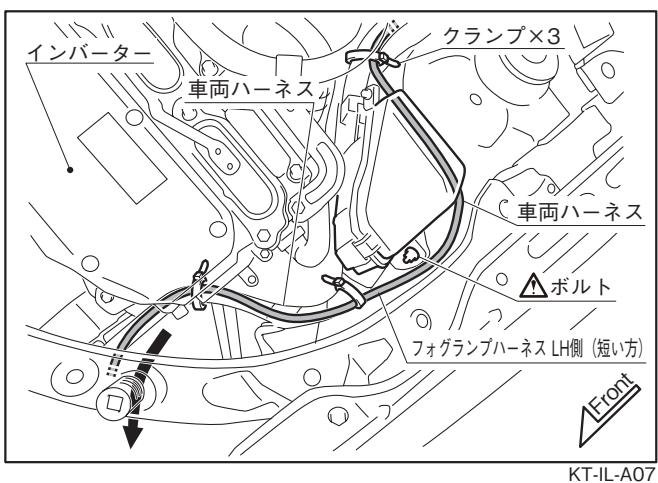
- フォグランプハーネスを車両ハーネスにクランプで固定する。



10 左図寸法を確保し、フォグランプハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。

■アドバイス

フォグランプハーネスに余長がある場合、図に示す箇所で処理してください。

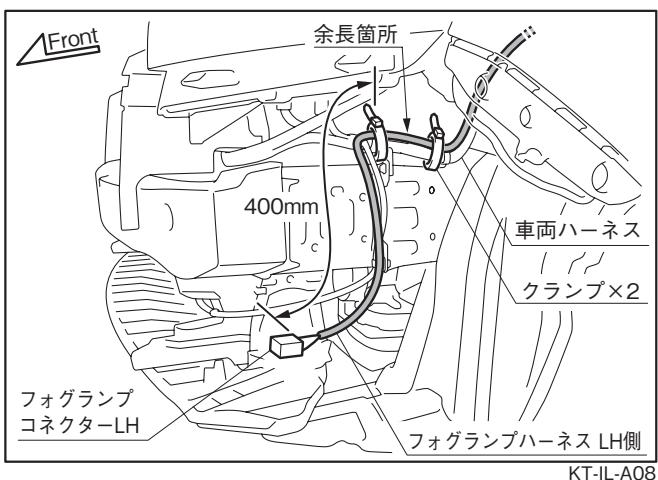


フォグランプハーネスの配線 (2)

1. フォグランプハーネス LH 側 (短い方) を配線し、クランプで車両ハーネスに固定する。
2. フォグランプハーネス LH 側を車両ハーネスに沿ってヘッドライト ASSY LH 下からフォグランプ ASSY LH 取付位置まで配線する。

△ 注意

ヒューズボックスのボルトを避けて配線してください。

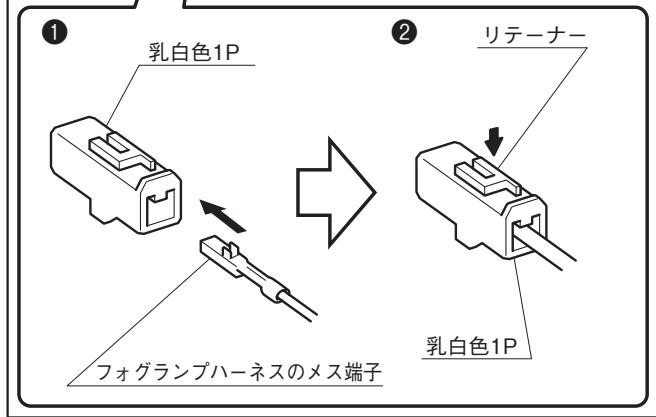
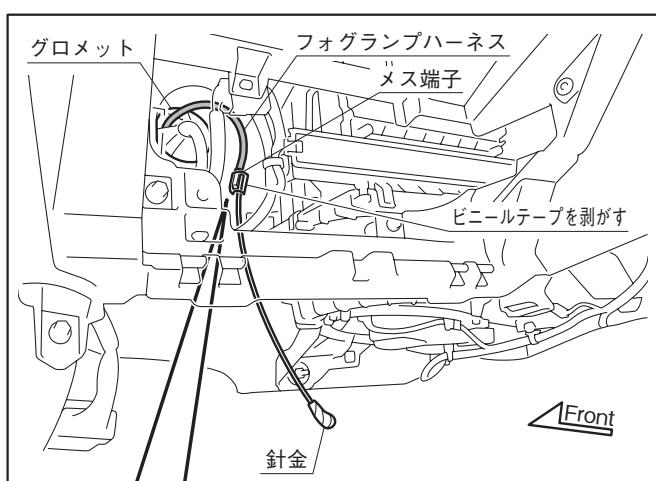
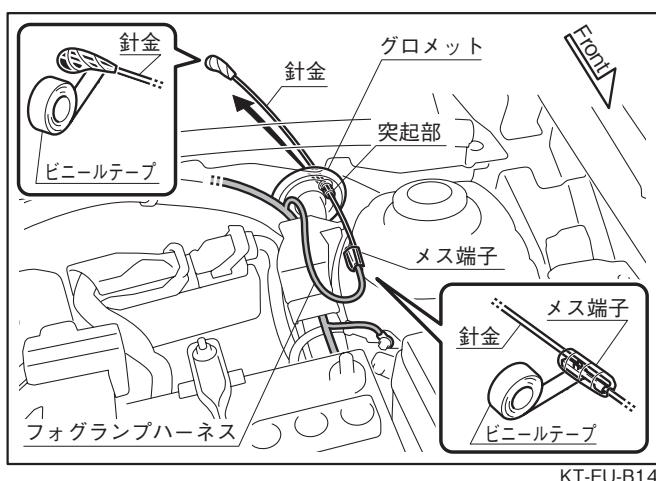
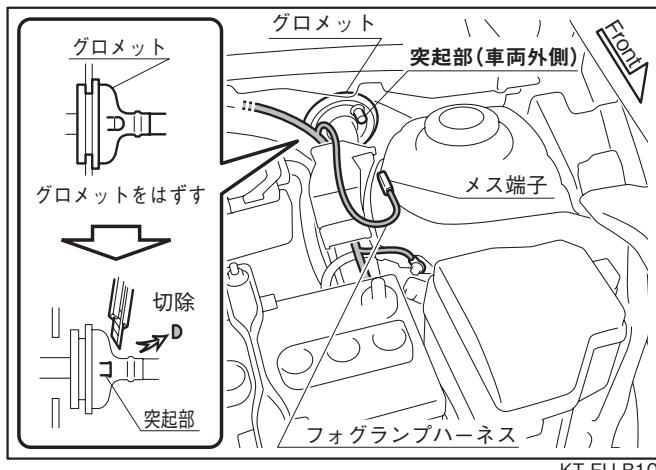


- 3 左図寸法を確保し、フォグランプハーネスをクランプで車両ハーネスに固定する。

■アドバイス

フォグランプハーネスに余長がある場合、図に示す箇所で処理してください。

フォグランプハーネスの車室内引き込み



フォグランプハーネスの車室内引き込み

1. グロメットをはずし、突起部をカッターナイフで切除する。

△ 注意

カッターナイフを使用する際は、必ずケブラ手袋を着用してください。

アドバイス

左図はガソリン車を示しますが、ハイブリッド車も同様に配線作業をしてください。(以降同様)

2. 針金 (500mm 程度) の先端を曲げてテーピングし、切除したグロメットの突起部の穴からインパネ内へ針金を通す。
3. フォグランプハーネスのメス端子をビニールテープで針金の後端に固定する。
4. 針金をインパネ内へ引き込んで、ビニールテープで固定したフォグランプハーネスのメス端子をインパネ内まで引き込む。

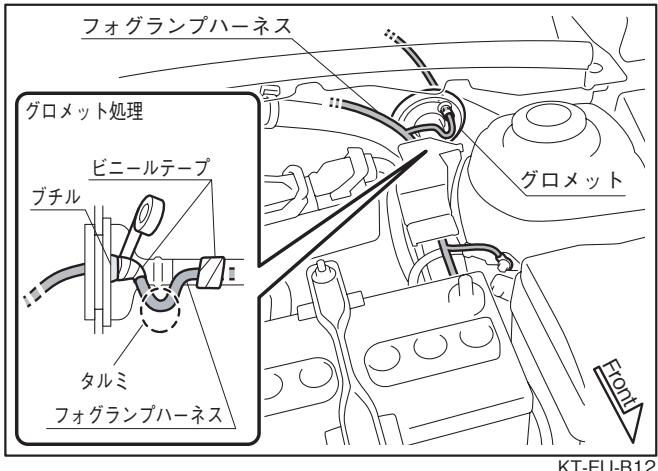
アドバイス

1. グロメットに通す際、石鹼水等を使用して滑りを良くすると作業が容易に行えます。作業後は水分を完全に拭き取ってください。
2. グロメットの突起部は、車両外側を使用してください。

5. フォグランプハーネスのメス端子をインパネ内のグロメットから取り出し、ビニールテープを剥がして針金を取りはずす。
6. 乳白色1Pコネクターにフォグランプハーネスのメス端子を奥まで挿入し、リテナーをロックする。

△ 注意

乳白色1Pコネクターのリテナーのロックがはずれていることを確認してから、メス端子を挿入してください。メス端子は確実に奥まで差し込み、リテナーで確実にロックしてください。

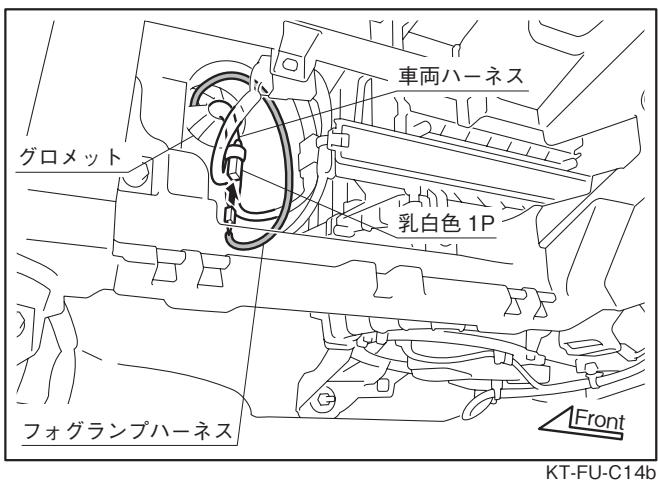


グロメットの防水処理

- 図に従いグロメット部の防水処理を行い、グロメットを復元する。

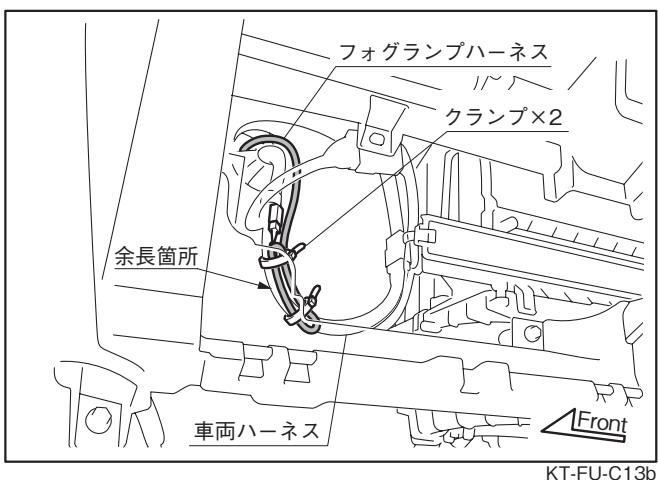
△ 注意

- 防水の為、突起部をP-Tex処理し、ビニールテープを巻いてください。
- 防水の為、グロメット突起部の手前でフォグランプハーネスにタルミをもたせ、ビニールテープで固定してください。



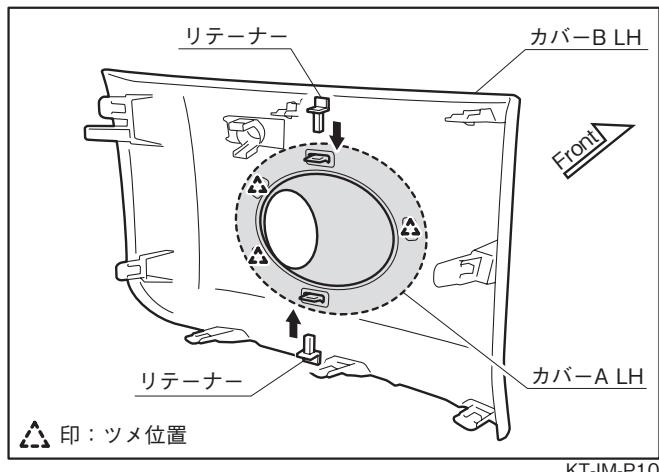
フォグランプハーネスの接続

- フォグランプハーネスを車両ハーネスにテーピングされている乳白色1Pコネクターに接続する。



- フォグランプハーネスの余長を束ねて、クランプで車両ハーネスに固定する。

フォグランプ ASSY の取り付け



カバー A 及び B の組み付け

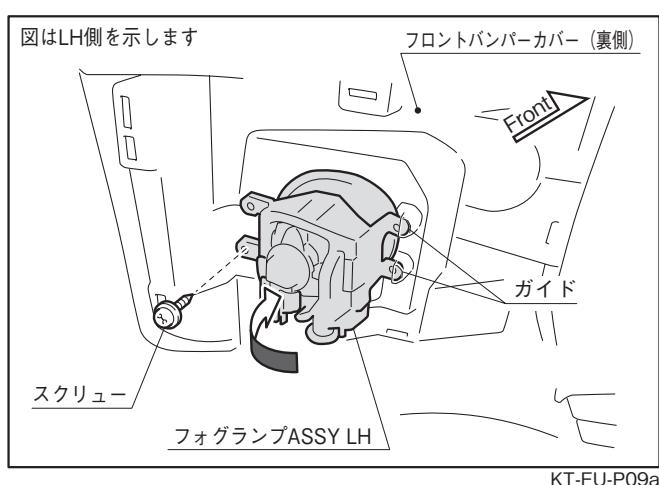
- カバー A LH をリテナー(2個)及びツメ(3箇所)でカバー B LH に固定する。
- 同様に RH 側も作業する。

△ 注意

部品傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

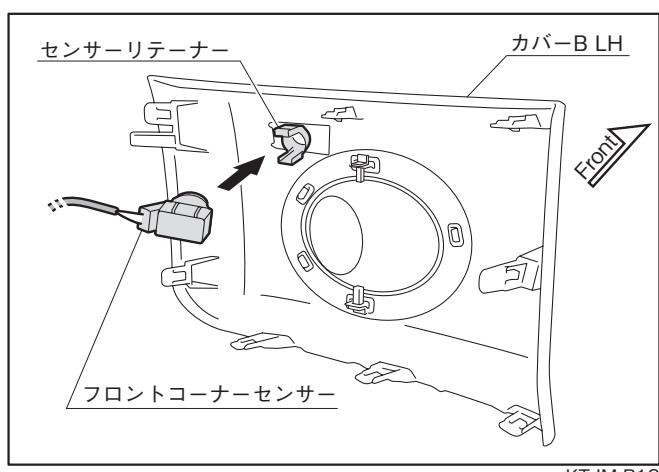
◆ アドバイス

組み付けたカバーのフロントバンパーカバーへの取り付け作業は、作動確認終了後、車両部品の復元時に行ってください。



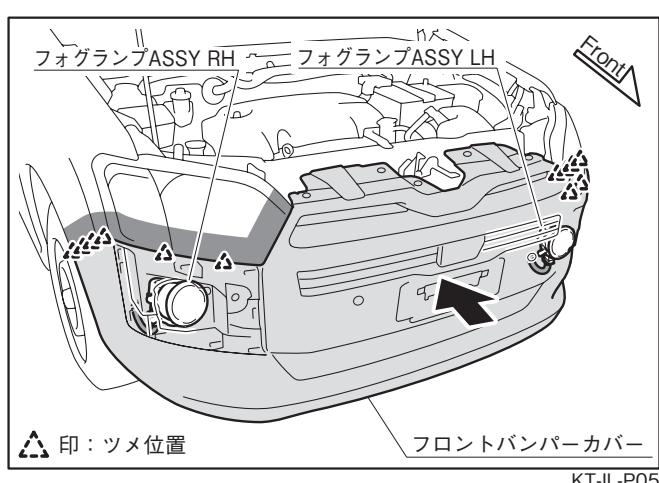
フォグランプ ASSY の取り付け

- スクリュー(1本)で、フォグランプ ASSY LH をフロントバンパーカバーに固定する。
- 同様に RH 側も作業する。



フロントコーナーセンサーの取り付け

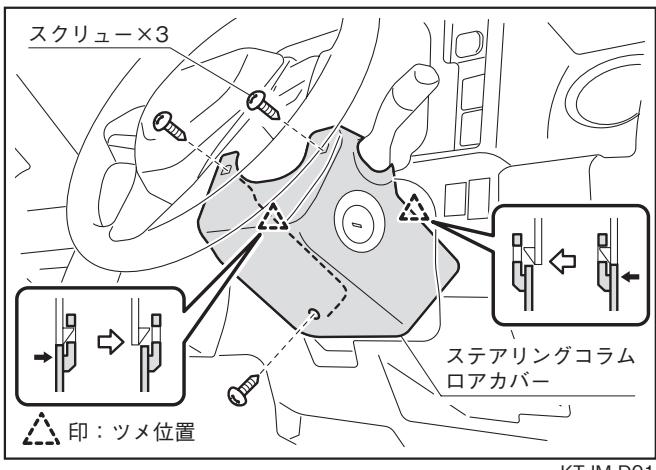
- センサーリテナー部にフロントコーナーセンサーを取り付ける。
- 同様に RH 側も作業する。



フロントバンパーカバーの仮復元

- フロントバンパーカバーを車両に近づけて各コネクターを接続する。
- フロントバンパーカバーを車両に仮復元する。

コンビネーションスイッチ ASSY の取り付け

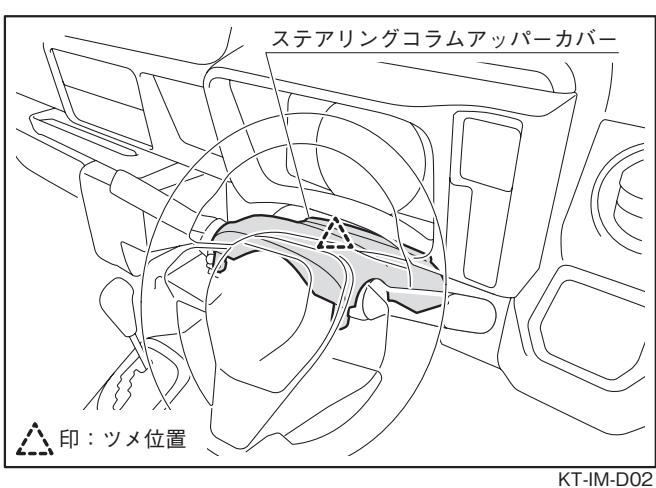


ステアリングコラムロアカバーの取りはずし

- スクリュー（3本）をはずす。
- ステアリングコラムロアカバー側面のツメ（2箇所）を左右から押して嵌合をはずし、ステアリングコラムロアカバーを取りはずす。

アドバイス

ステアリングコラムロアカバーの取りはずしは、ステアリングチルトレバーを押し下げて行ってください。

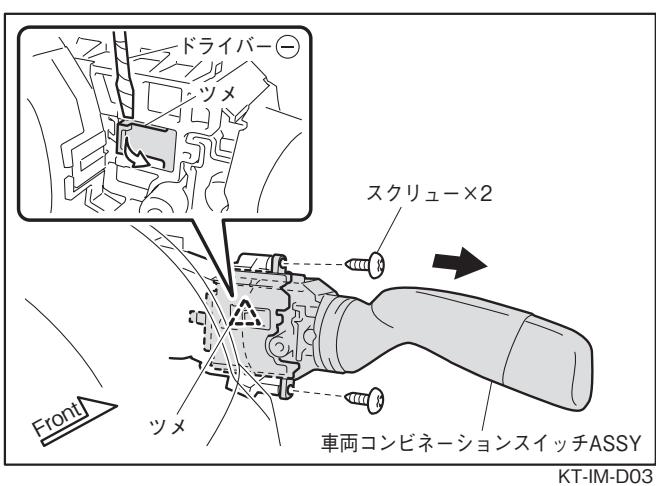


ステアリングコラムアッパーカバーの取りはずし

- ツメ（1箇所）の嵌合をはずし、ステアリングコラムアッパーカバーを取りはずす。

アドバイス

ステアリングチルトを最下端の位置にした状態で作業を行ってください。

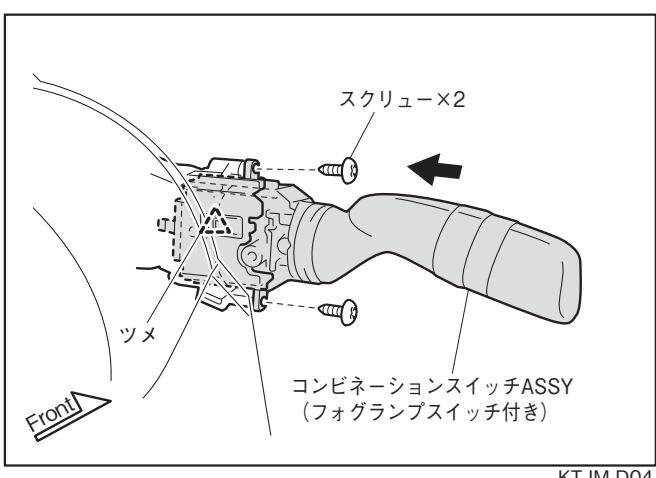


車両コンビネーションスイッチ ASSY の取りはずし

- スクリュー（2本）をはずす。
- マスキングテープを巻いた \square ドライバーで、ツメ（1箇所）の嵌合をはずし、車両コンビネーションスイッチ ASSY を取りはずす。

アドバイス

取りはずした車両コンビネーションスイッチ ASSY は再使用しません。



コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) の取り付け

- コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を取り付け、ツメ（1箇所）で確実に嵌合させる。
- スクリュー（2本）でコンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を固定する。

作動確認

1. バッテリー（マイナス）端子を接続してください。
2. 下表に従い、作動状態の確認を行ってください。
3. 正しく作動しない場合は、次項のトラブルシュートを行ってください。

△ 注意

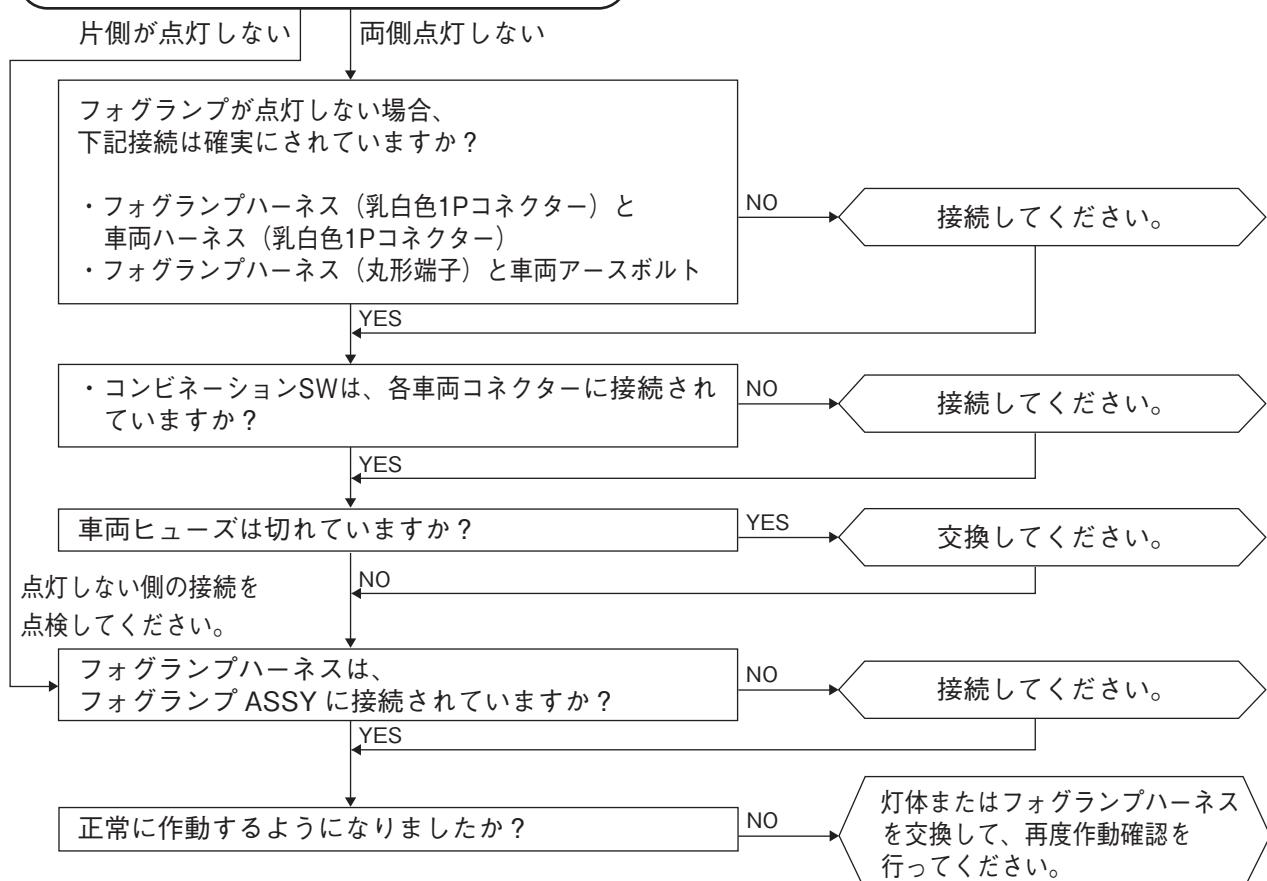
点灯確認は、必ず車両を水平な場所に停車させパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行った上で作業してください。

確認順序	スマートランプ	フォグランプスイッチ	扣 フオグランプインジケーター (コンビネーションメーター内)	フォグランプ
1	消灯	OFF	消灯	消灯
2		ON		
3	点灯	OFF	消灯	消灯
4		ON	点灯	点灯

トラブルシュート

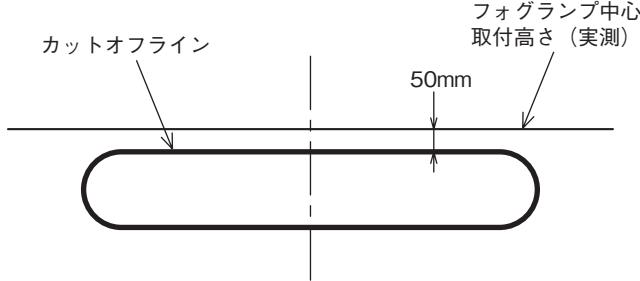
このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載しています。

フォグランプが正しく作動しない



エーミング調整

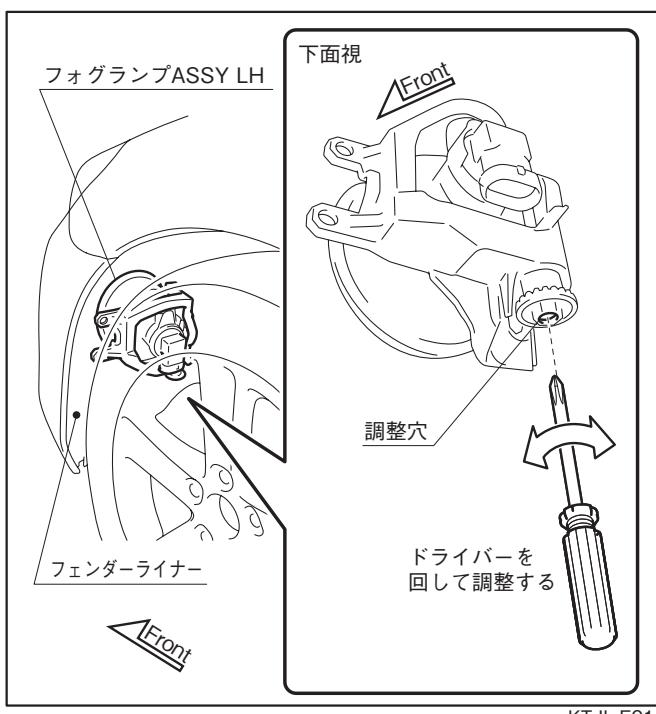
エーミング調整は、必ず1名乗車して行ってください。



- (1) ヘッドランプスイッチをONにし、フォグランプスイッチによりフォグランプを点灯させる。
- (2) 1. タイヤ空気圧を正規に調整する。
2. 運転席に1名乗車する。
3. フォグランプの光を3m前方のスクリーンに投影する。
4. 実車にてフォグランプ中心位置を実測し左図のようにカットオフラインを基準にしてドライバーで調整する。

アドバイス

スクリーン投影寸法は図面上の数値であり、参考として使用してください。



エーミング調整方法

フォグランプ下面の調整穴からドライバーを挿入し、エーミングスクリューを回して調整する。

アドバイス

1. エーミング調整は、フェンダーライナーのサービスホールからドライバーを挿入するか、またはフェンダーライナーをめくって調整してください。
2. 図は LH 側を示しますが、RH 側も同様に作業を行ってください。

復元作業

取りはずした車両部品を元通りに取り付けてください。

△ 注意

復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

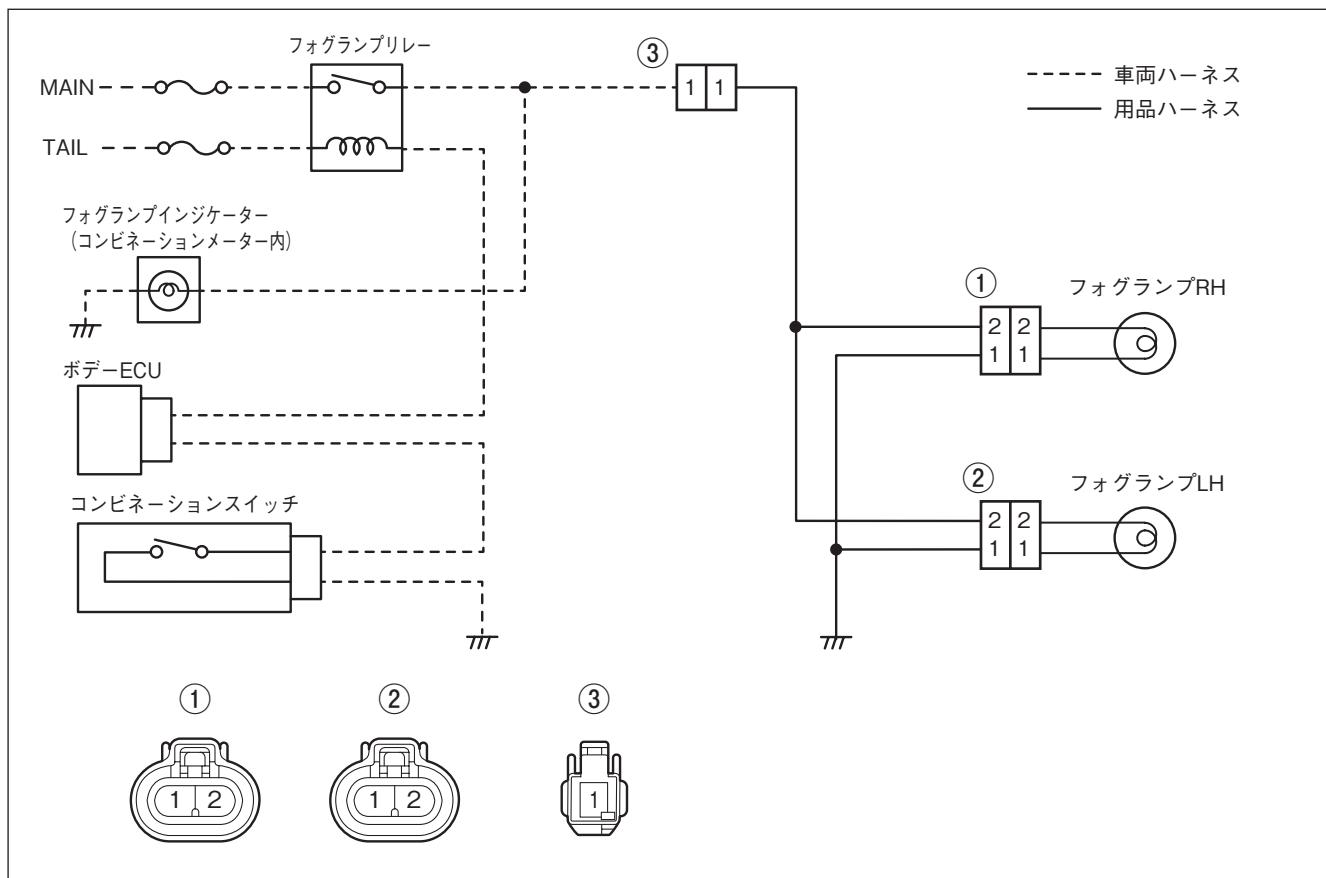
バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込み、車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。
2. 車両機能（特に電気系）に異常がないか確認してください。

配線図



取り付け店殿へのお願い

必ずお客様に操作要領を説明してください。